



## 研究背景

### 高齢化社会の問題点

高齢者が健康で充実した生活を送るために、高齢者の聴覚特性の研究を行う。



利き耳アンケート調査

音像定位実験  
(立ち上がり部分)



高齢者の聴覚特性の左右差の有無を検討する。

### 先行研究

#### 利き耳

- 利き手, 足, 目は年齢とともに右側に偏る。一方, 利き耳は右側または, 左側に移行する。
- 時代間による利き耳の研究があまりない。

- 利き耳が年齢層により, どう移行するか?
- 利き耳が時代間に影響するか?

#### 音像定位実験

- 両耳間時間差(ITD)を与えた音源で高齢者の認識左右非対称性を確認している。
- 高齢者は立ち上がり部分(Rise time)の認識が不十分である。

- Rise timeが長くなると高齢者は右耳において音を立ち上がる部分の認知が劣化する。



## 研究内容



### 利き耳

#### 利き耳の調査

- インターネットアンケート調査
- アンケート調査と先行論文を比較

#### 解析

- 同じ時代間で異なる年齢層の比較
- 異なる時代間で同じ年齢層の比較
- 異なる時代間で異なる年齢層の比較

三つ角度から解析する

#### 検討

- 年齢層による利き耳が左側に移行するか?
- 時代間による利き耳の差の有無を検討する。

### 音像定位実験

#### 実験の実施

- 質問紙と観察法によって, 各利きを調査する。
- 異なるITDと異なるRise timeを与えた音源を左右耳に聞かせる。

#### 解析

- 自信度と回答の関係
- 数量化理論により, 影響因子の検定
- 被験者がRise timeを認知できたか左右耳について比較

#### 検討

- 左右耳の差があるかどうかを利き耳, ITD, Rise timeの関係を調べる。

#### Rise time

